の～んびり の～んびり 新河岸川散策

2023年6月号では「新河岸川散策」として、南畑橋から下流に向かって歩きましたので、今月号では上流に向かって歩いてみました。
季節を選び、皆さんも歩いてみませんか。

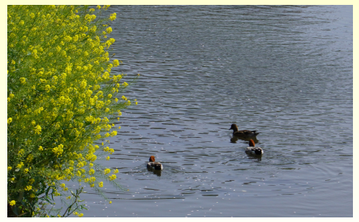
1

鶴瀬駅東口から「ららぽーと」行きのバスに乗り、「ららぽーと」から徒歩で南畑に向かい10分ほどで南畑橋①に着きます。途中産業団地のための整地が行われていました。橋を渡る手前からサイクリングロードに入りました。

散り始めた桜と土手に群れて咲く菜の花のコントラストが素晴らしく、梨畑では白い花が満開でした。白鷺や鴨、鵜などの鳥を見ながら歩を進めると、砂川堀との合流地点②です。

③旧新河岸川開拓記念碑

①～②満開の梨の花


①～②のんびり泳ぐ鴨

2

砂川堀に寄り道。砂川堀の両側に大きな遊水地が2か所あり、蛇島調節池④です。今は水が入っていませんでしたが、洪水のときはここに水をためて溢水（越水）を防ぐのだということです。国道254号バイパスを挟んで反対側には富士見環境センター⑤が見えます。

新河岸川の土手に戻りすぐあるのが伊佐島橋⑥で、南畑橋に続いて新河岸川に架かる市内で2番目に古い橋だそうです。このあたりに舟運が盛んだったころの伊佐島河岸があったと言われていますがそれらしき看板は見つからない。橋の近くの民家の方にお聞きすると、「この辺にあったと聞いているよ」とのことでした。南畑橋から上流、富士見市分には伊佐島河岸と蛇木河岸があったと言われています。

④蛇島調節池

砂川堀の流れ

⑥伊佐島橋と土手の菜の花

3

次は新伊佐島橋⑦へ。サイクリングロードはこの新伊佐島橋が富士見市の起点です。渡りながら下をのぞくと、小さな流れ、旧新河岸川（古川）⑧を見ることが出来ます。市のホームページによると、ビオトープ的存在とし紹介されていますが、竹が覆いかぶさっていてよく見ることができませんでした。橋を渡り切ってすぐに「南畑ふれあいプラザ」⑨の看板が見えます。農業の振興や地域住人の交流を図る施設で、40年以上前に廃校になった南畑小学校東大久保分校の跡地だということ。隣には「阿蘇神社」⑩があります。関東ではあまり名前を聞かない神社ですが、村社として昔から大切にされてきたようです。境内には多くの神社の分社が立てられています。大廟参拝記念碑の元に力石（2つ。ひとつは113kg）⑪が置かれています。村の若衆が力くらべをしたのでしょうか。令和になったのを記念して植えられたしだれ桜が、大きく成長していてこれからが楽しみです。

⑪大廟参拝記念碑の近くにある力石（2つ）

⑧旧新河岸川の流れ

⑩阿蘇神社の境内社

⑩の境内の枝垂桜

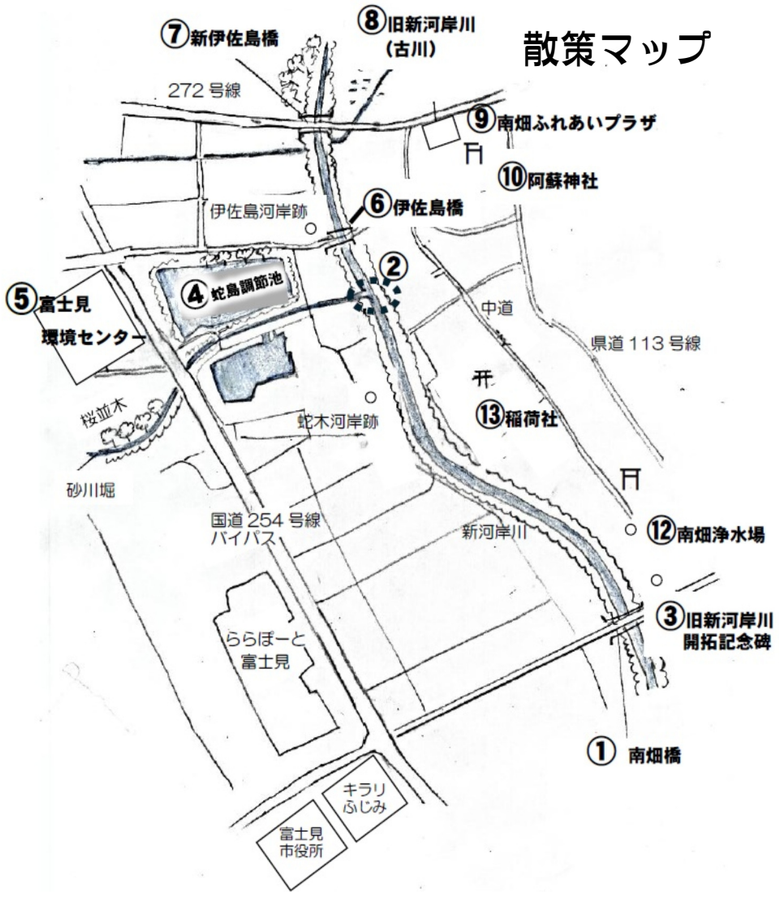
4

神社を出て中道を南畑橋方面に戻ることにしました。中道は県道と新河岸川の間にあり、周りには新しい住宅がたくさん建っていました。昔の農村地帯というイメージが変わってしまいました。

昭和40年に竣工した南畑浄水場⑫、向かいに「稲荷社」があります。浄水場は地下水（深井戸）から水をくみ上げ塩素殺菌をしているといいます。稲作地帯らしくあちらこちらにお稲荷様がありました。中道を出たところが県道。南畑橋に戻り2時間の散策終了です。

⑫南畑浄水場入口

⑬あちらこちらにお稲荷様

灌漑用の井戸から田に水を張っている

散策マップ